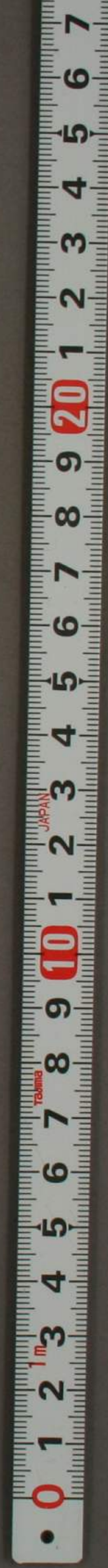


五畿内産物圖會

攝津之部

31
4204
1



訂
4204
1



於一々の浪速名大急東脚



急〜宇治都久仁乃名そふ



ふ〜集まはる旅のほ〜名とつや

か〜と贈〜と〜

名〜種り〜

ゆ〜ゆ〜

ら〜ゆ〜

うら〜ゆ〜

昭和六十一年六月廿日
市島謙吉氏

て津乃まう京小やてさぬよるかづのゆりやゆ
ちぬくのゆきも物ゆも人ゆてよゆよさ
ちりさあふう終海井乃種なりしと作
らぬしこしと京やまわしつと物くいと終
らりふうつ可くははゆととて君力と
力とららる人も多ううわしく耻之程人
大矣とさうゆとんた乃ゆり其とくにはさ
くゆよふ旅乃ゆりまの心能るゆい表

れと也しつてい乃るま話しとてゆゆえ
ち彼画工の需ゆまのゆゆまゆとゆ
つ幸ゆふゆ世のゆゆハゆゆ海とゆゆ海
さゆゆゆゆとこゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ちさゆゆゆゆ

あ化七年十月

富小路正三位刑部卿貞直卿

勉亭主人

諸國產物集就矣不圖速脫稿不是自力取致
咸憑衆人之力也僕也非力行以可卒業者嘗
懶惰亡賴加之以無學不文口訥不有祝鮀之
佞容醜又無宋朝之美系竹歌舞之技不曾記
無敢可稱處纔勤畫事以糊其日日之口而已
何如有前世之好因緣在四方君子不顧僕拙
以可命畫役還近來將編此集而請諸君作
畫則不否其鄙陋之需見惠賜焉是即好因緣
乎天幸乎更不識手舞足踏云
文化八辛未歲仲冬 如水亭東野識



攝津國美
也計毛濃



住吉

遙ぬるをまけうらわ
山城さへおまへのをほけ
えりゆふそかる

津守朝臣國礼

位のえの巻うつ波の
うちねに神代に



本ちるあらし松糸

加茂季鷹

鬱蒼松樹翠烟籠
四廟巖然鎮海東
白鷺高飛帆影外
和光忽映夕陽紅

右墨江
柳廬條云美稿

出雲宿祢千家清足畫



霜風千歳松傳顔

夜月半輪橋寫影

浅瀬

け外のゑとれ家のぬきとやいくせふせぬ住なれ松

左海

知榮

住よーやねの下よりまられ海

大和

可翠

夏志らぬ誰う住よーの溪庇

濮高松

漱石

振神楽や御焼ふ光る廿日月

浪花

亀鏡

いととも戸ひらぬーせとまほれおひらいたる

鳥花雪頂弁

桃苗

とんてーとあま

誰り草も夏よおよぬととれ急ハ

子種堂

燕子花

和もあまーせうとよーて

住名へし潮子の溪路ー多塔もふもまーて

夏夜草

百合

とまほのまほひの海いづつてもぶらてまよおり入給

采雲

住名の汐子海のまほととんていづらまてかうひい貝

子行

三日れ海のまほまいら入給ふーる日あり給まらぬ

神楽

捨も非のむうけまぬ吐て座ほととーまら汐子海

青霞

汐いけい捨とり小さいてまら人のまほまらーれ浦

住名れまらうとふととんては日海まてゆく汐子海

△白れ海や強てさるれ干後より拾はし位名れ仲

舟田へつゝき田のそと海へまうほふいて貝拾ふのと

良もつゝあつゝの汐下へおふらるやんはるは流る

汐下へおふらまてかみししく流るることさうさう

流るる枕のひしを引けりお城をこれ一住名れ浦

鳥形へかた拾ふをまよひおまきの流るらるる

ゆつゝ流るるもつゝ一住名れ仲はむじもふらるる

急流もさるりやいらん汐下へかいらはけし流る通ふと

汗

仁丹

庭茂

廉幸

銭丸

権筆

魚糞

空丸

輿をさそれ汐も流となりる夏いあまき

とろのぬくさ一住よ一の漢

柴母らもほもさみや一ろ流るをさハ

かくハク一さをれれハの松

こはハおろりなり先小さらり何事と

とをまてうま一住名れの浦

西の海嶺う糸のながるるよらうらるれ

ゆつゝ住よ一の糸

櫻をさしとろち小をちぬあいち

とよらりとこの住よ一の糸

浪を

力丸

浪を

時兼近

浪を

砂角

浪を

朶雲

浪を

醉月

激 丁

どうしお出たつ

ちぬのうらや

汐千の

貝ひろふらし

宣賢

汐の苗を

堀りにまけ

神の浪

泉界 曙光所

東霞



小桑 紫や

因へ土産の

さくら 貝

磯津田

奇峰

三竹男の浮馬よ

さる

汐千の

口津田

魯州



君山



恰哉流りもとりふそ汐干かと

浪を

不化

ぬまきよ小渡流の崎或見流りも
之日の海よそ或はをく見候て

浪を

船丸

ふあーもとの貝或とらまよ
やい難のよかまもよしてひく志何よ

浪を

幸丸

さよめてまはる海の中位
汐干して赤貝のとも様

浪を

露香

かひとり裾てひらふるまぐり
さるものもまぐすもあめ汐干の

浪を

湖水

よきなくさよふ我こそを貝

七

土産もせんいじちかかかきしりもきんくはせりや

土

庭茂

雲のねり或ふあぬもかきやまよふらうせんい
位よきまらぬ船とせんいふたいとほるりや此判

錢丸

いしちちふらうむらや位よれぬやけやさうりつは備

子行

せうくやさかぬぬの船船の島あかやもよせんい
からうらうらしてまはくたよん位言の上産せんやさあはれも

庭井

位言の新葉小園もたつやけ知の目まうはまうや行る
位言れ社とよまの新家よと孫のやけ小園も行る
行や草き入け小園も

扇平

河丸

空丸

瀨邊産

十二八 十三巻

常山丸



まつくま

あふた

縁を

下地

赤糸

むら

イツミ

細九

色

あ

拾

八

このよきて

か

到丘

あ

物

其

十二八

探



浅沢杜若



浪花

長調齋



ねんじり

まゝ

ち

青峩



新家名産

玉以

新

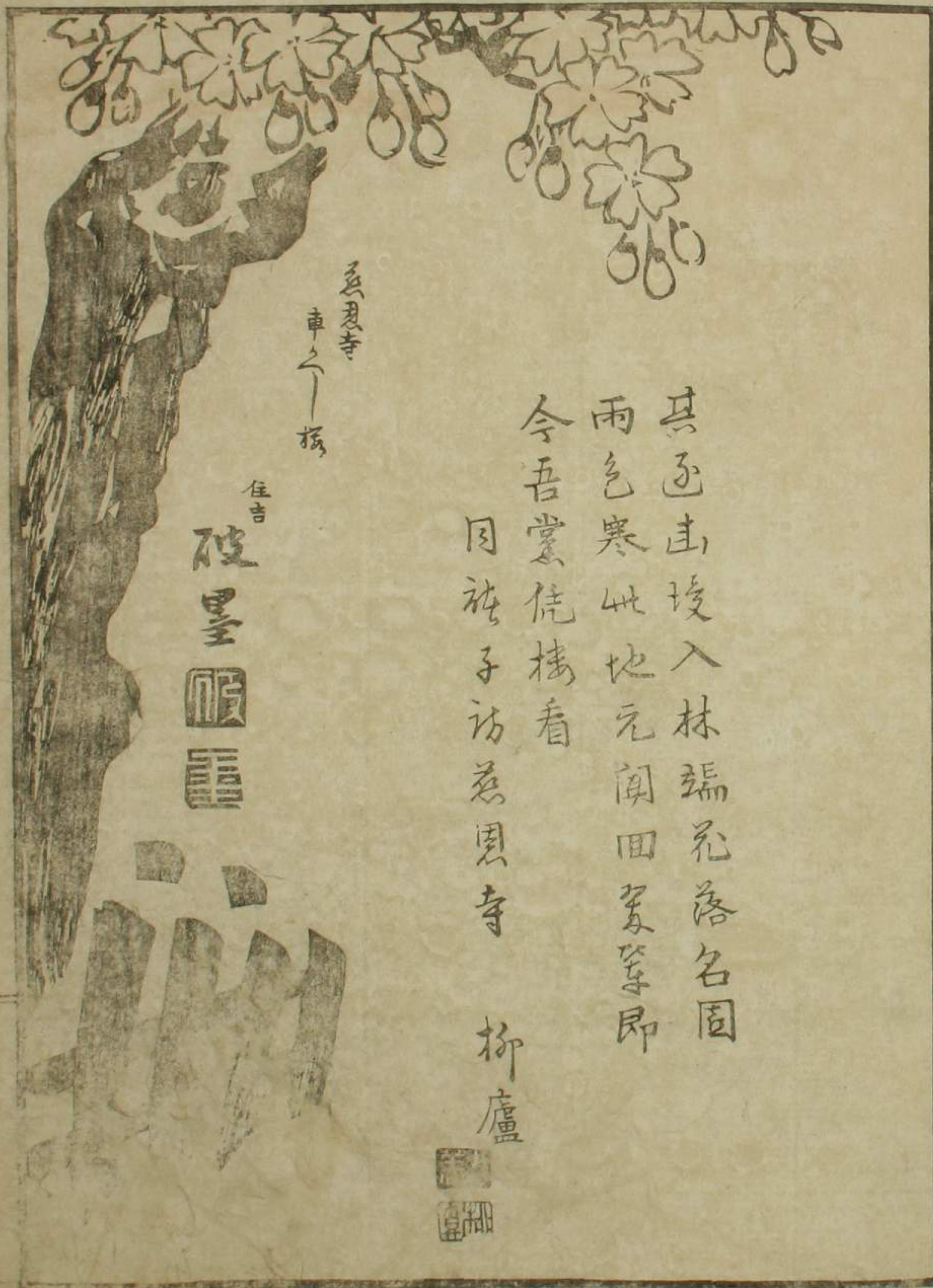
深雲

こ

後

さ

槿花



長慶寺
車久一核

任吉

破墨
順
畫

其逐出埃入林端花落名園
雨色寒此地元関回夏等即
今吾黨徒接看

同祐子訪慈恩寺

柳廬



善かゝる日本を福壽の源

一筆の筆目画集

長慶寺唐也

ふとほろ

とれ

白の

名おとぬる

ふろ／＼せんべい

浪花隨右齋
巾雅

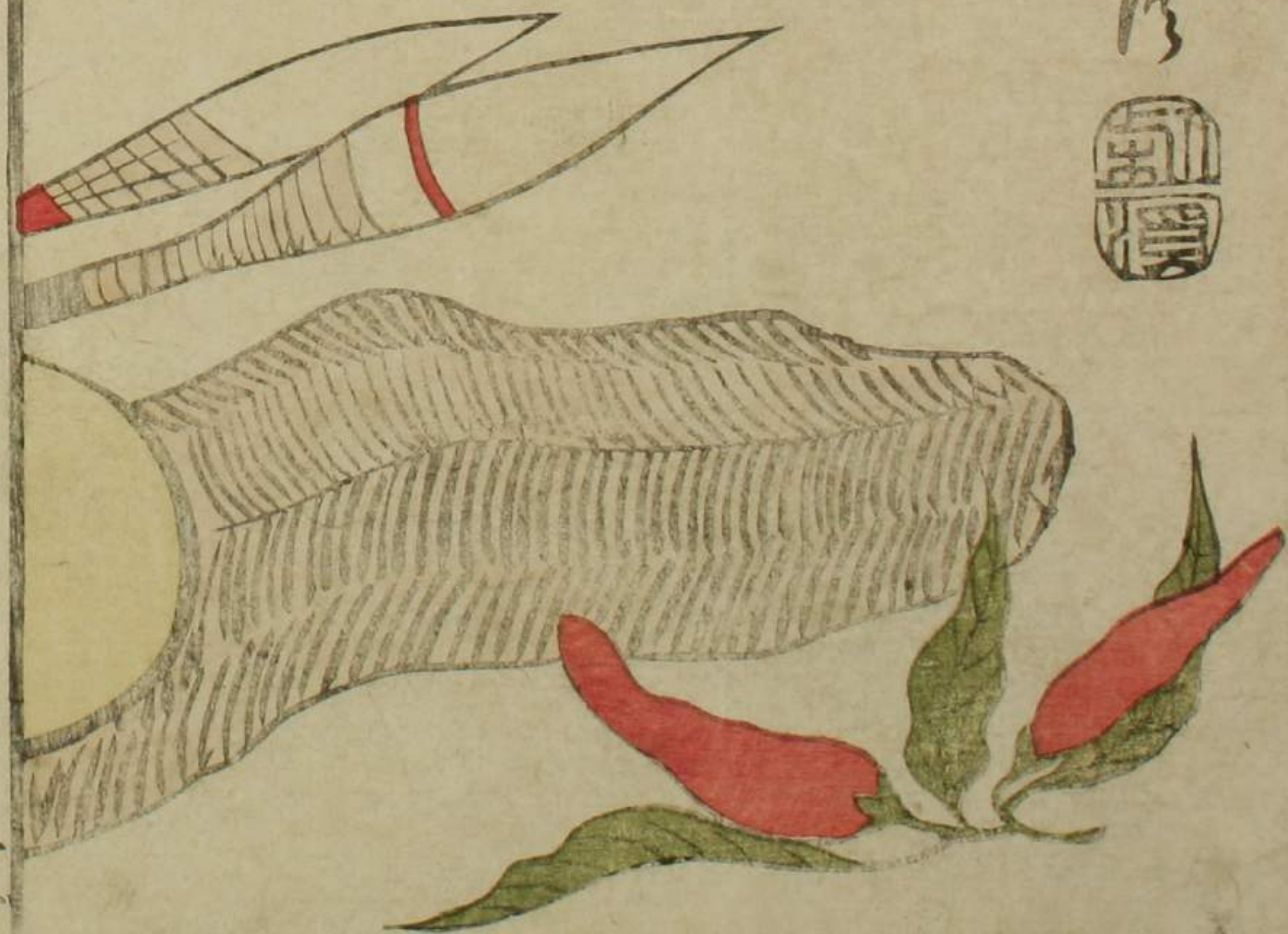
安立町産

東後

紫竹



根引きし
系 凡
ひやうしん
まきやう



尻強ふ秋の寒のふくむか

二世不三舟

桃 處

ほうけきと志と

くくへん 菱 椒 いかし

根川ふふつとせえ

泉 別
細 丸

ゆがふふと安立町の

ひととちにいふむけや

よく通すもの

天 三 坊

蕪 坊

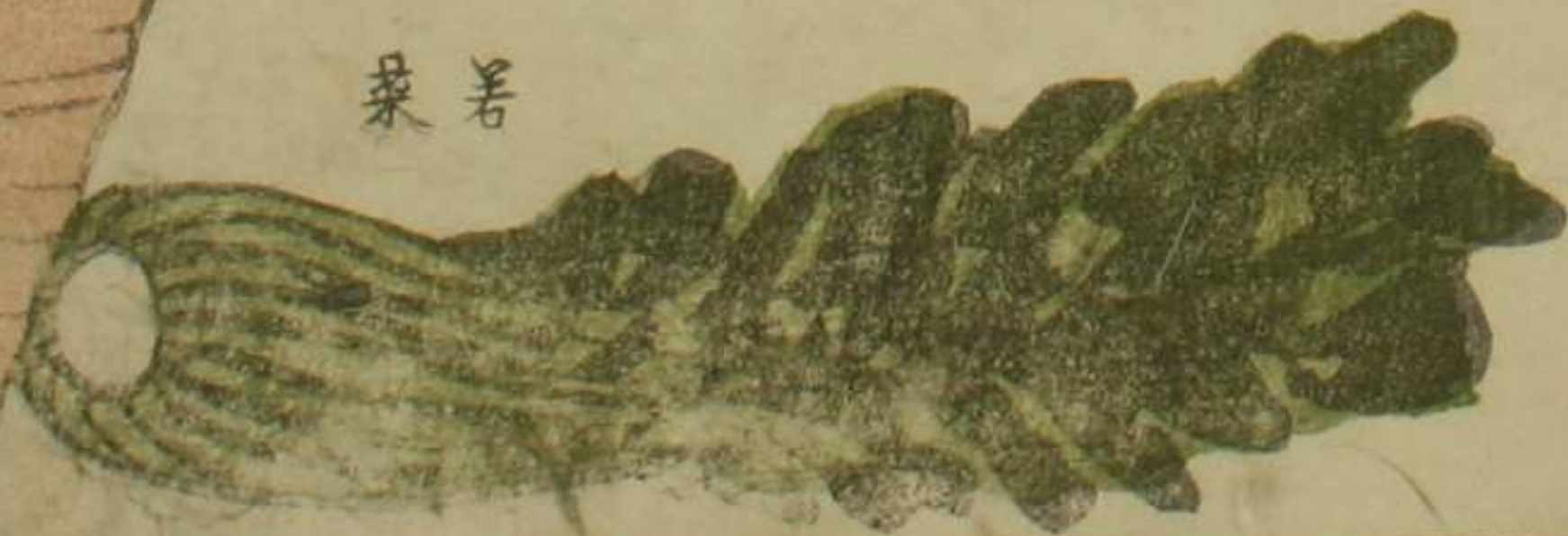


紀加

松葉油



葉若



佐よしの遠里小野の松葉油として

その葉はむらり神のまへ人

サカイ
覺了

枝のうへへ廣いことやう

目のおふもれいはい

なまこやのまら

イツミ

細丸

ひらうても名はいらうて

そこまてしたうくすし

おまはやれまら

マモ

蕪坊

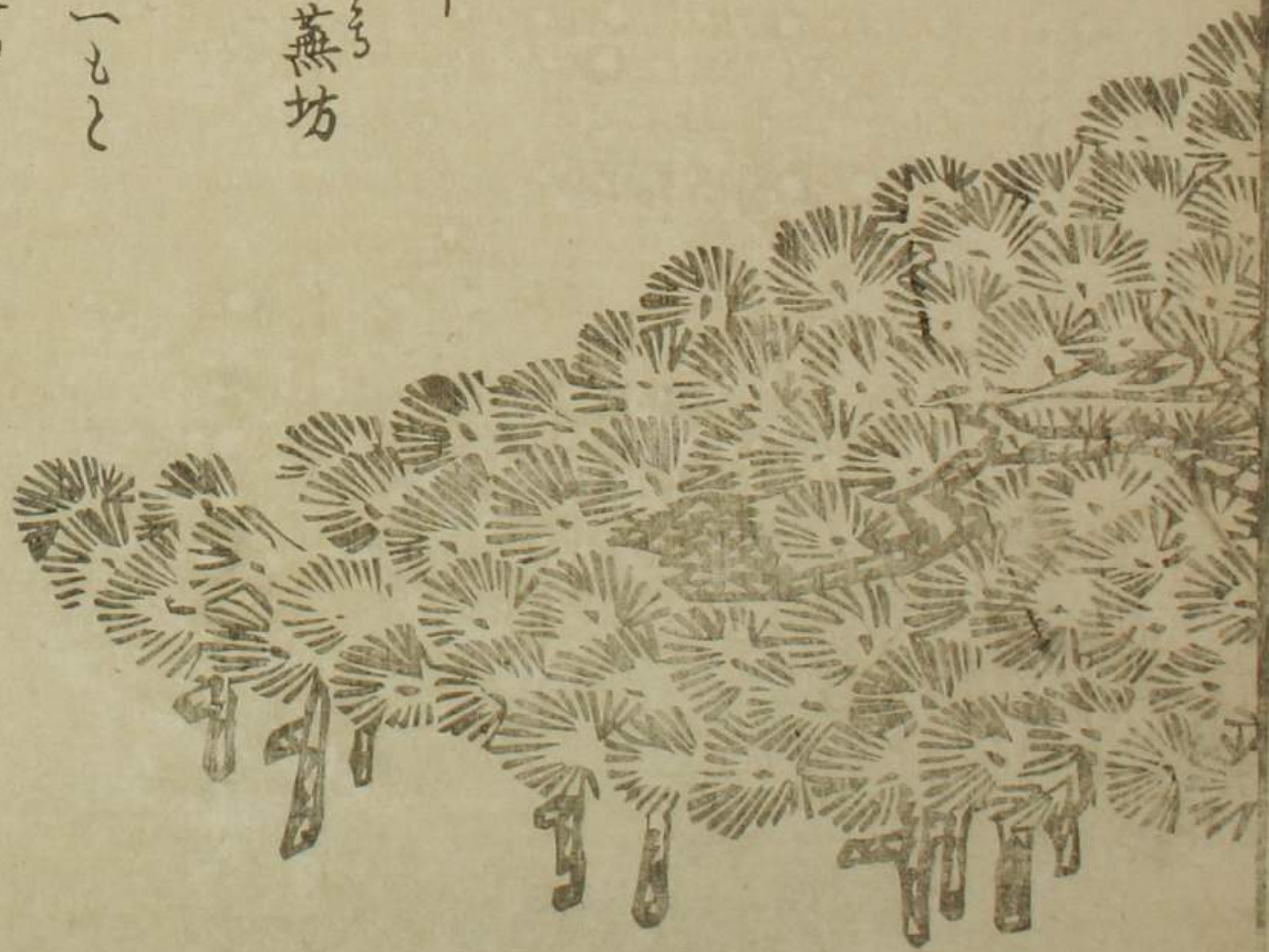
たぐふも時をもとらし

望のこのあふ志けら松の一とこ

サカイ

養軒

任吉難波屋





さつねは

ささりさつねて

花ハ

カ

可右

新西瓜

浪花

九



新西瓜

あまのり



長十日とちり向ても

夏ぬらハ三ふさうもと

富士よアもあちハさん玉

いちふか子

無の着

芙隣

市園茄子

随東齋

國綾

紀加

松五郎



キム

木綿

浪花

玉仙 卍 卍

荒陵园裡白蕪
菁顆々霜摩質
自清湏識佛綠
分法味人間偏
是調甘美

浪花 曹叟

ちれきも萩も

あつらひまきり

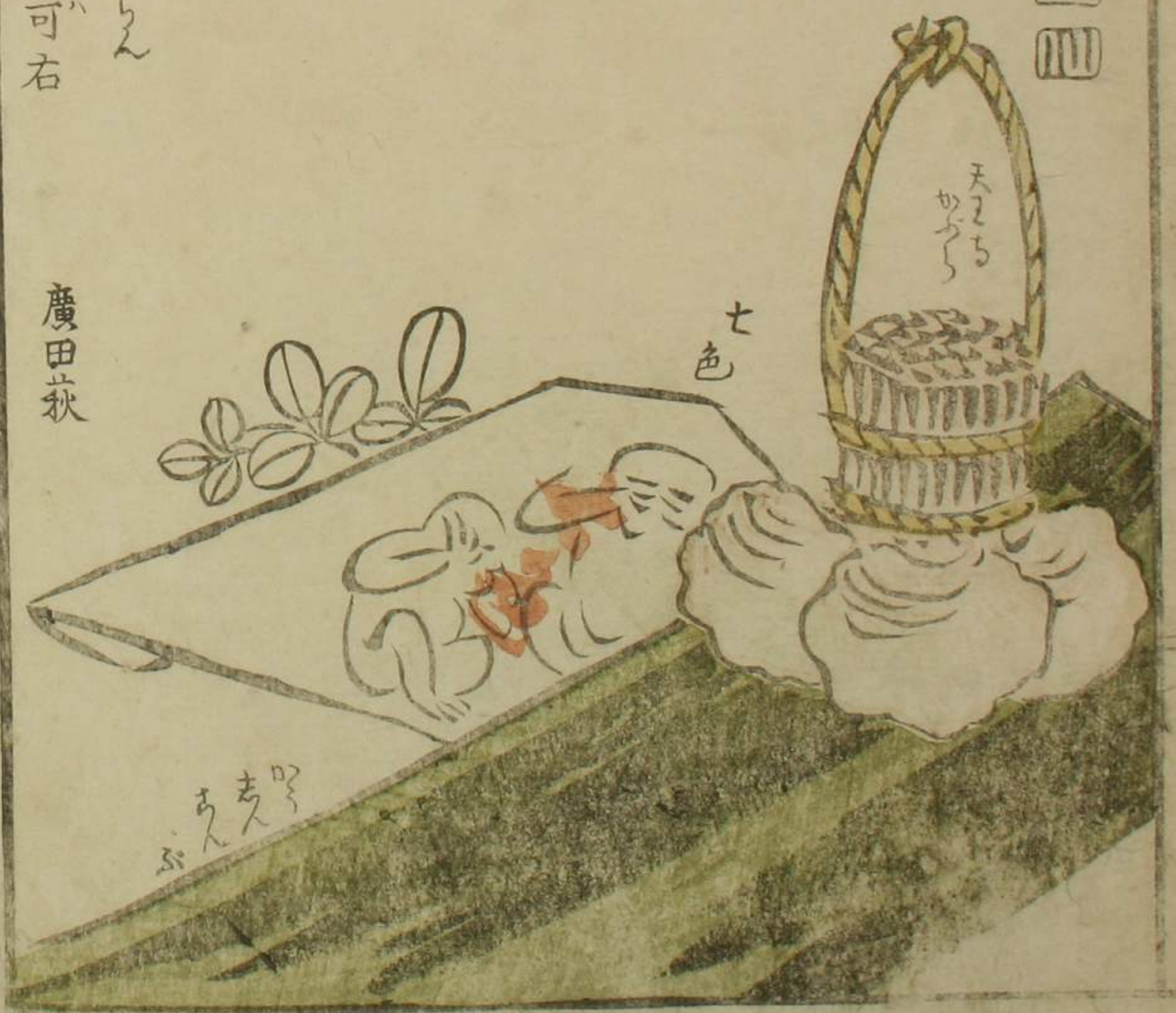
ほんちゅうもまき

北山といふらん

可右

廣田萩

十四



人形屋ハ佃子法けても巻もまきり

けりよてあつらひまきりやまふさけき

後拾子

糸色のらりねいろや

いものいとぬこまき人形屋の

ちるおまきのこま

砂角

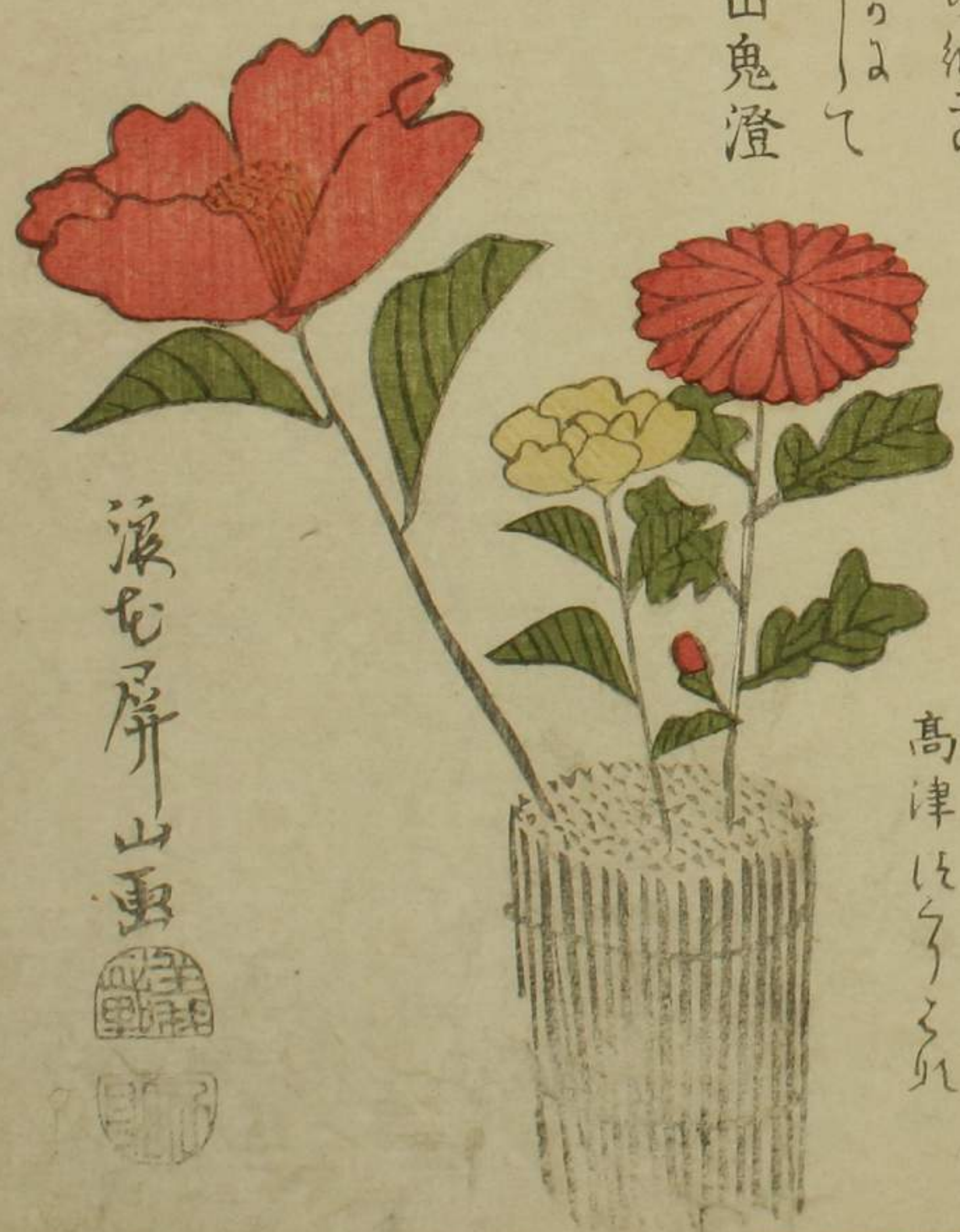
鎌倉寺の

後拾子



まきりや

御萩



名もきよみずしきほの
 けりうとれかとの細工の
 きよらうのよ
 して

よハ
 須山鬼澄

高津はくろく

浪七屏山画



木綿屋とく

江加

九夫



いともしよ
 よとのあんなるあそ
 葉の中ても毛糸をたさ

十六
 不仙



寶樹寺のふ

ハ格ふついで名をさ
 何ら格れさすの格
 してとやえん

浦田
 仲風

赤地ともお白いてん
 いもさるまの

除よけい
 あの家樹ち

庭井

讃那

竹坡

後格
 たて



どうや鏡
 まま人
 けい格
 きせろ

四

五
 鐸

藤糸の仔織ハ

葉又のさふと布

ふみ小布とい

たのまんち

夏ほ
 百合

唐すて

みち

まろあんの

まんちゅうわ

さらや〜

さ〜後ま

車延

十六

鐸

鐸

十五

能雪三臟疾福自
此中生佛室眠回
慶早聞搗葉聲

宿

吉野氏仙龕作

七十八天龍挂冊

およろこびてさきとひさきある寺の名れ

山かゝれ春小花のまゝの浪

室丸

東岸寺

調中一粒丸

清らかなる可なり



天板
ひらの
かた
の
かた



十七

味ハ是天満大根の香れもの

とせたり香ぬるなましくほけても

不仙

かの玉の人よ

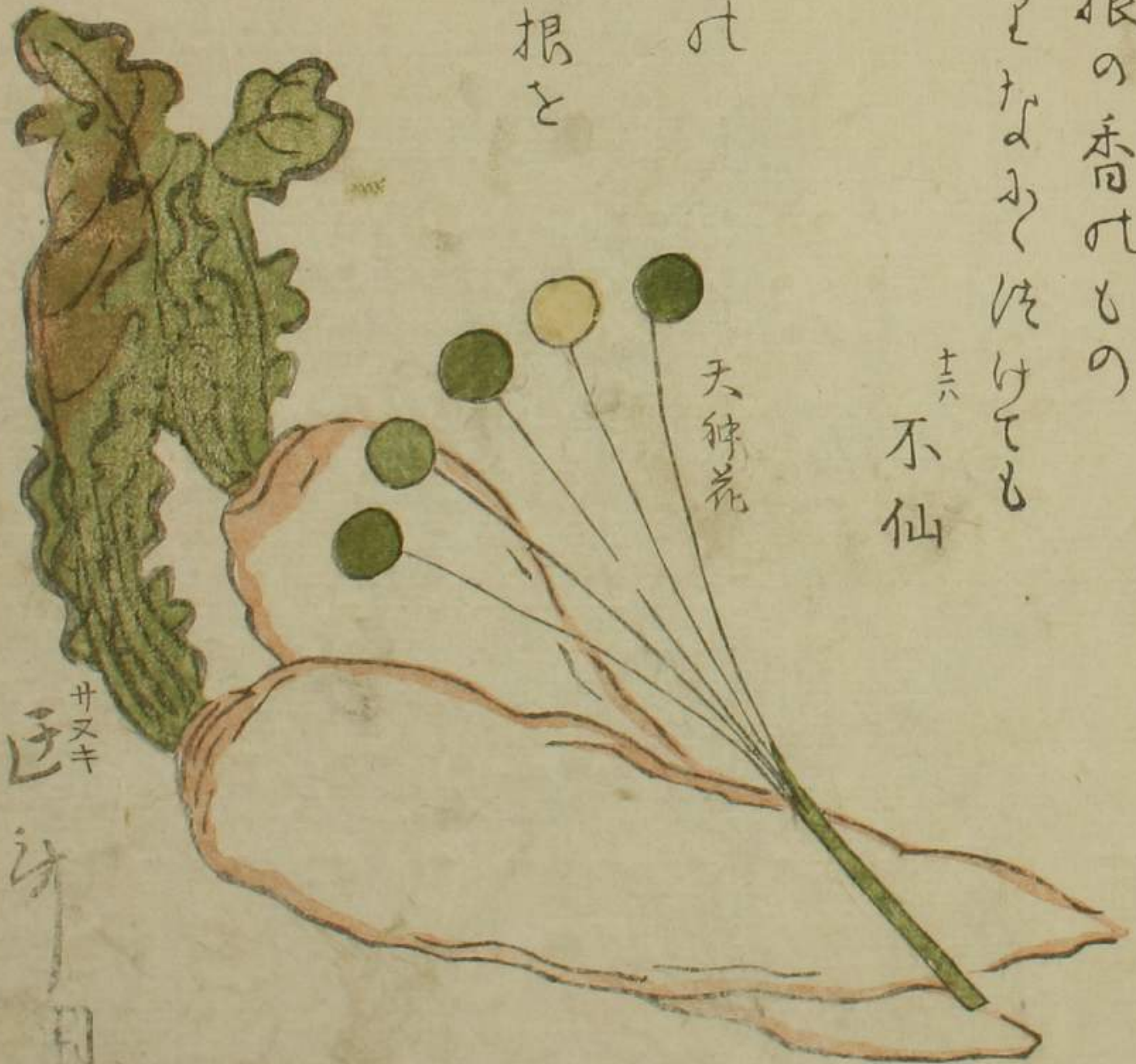
えせとやけの玉れ

天満のつらや

ほ〜と大根と

か丸

于大根



天神花

廿又キ

匠

時 刻つてはらす上よと
 ふそひくはうのなして
 桓木尾控十郎

十三八
 桃苗

天満植木



東讀
 漆園

手拵てわねと硯の
 うゝねうも
 さくかきはるこの

名くそさる

桃苗

浦江社

流うりても

かひうらさる面の餅

ねもあちとひもさいめて

よいりら

國陵

仙年女史

徳卷





めめさう

米市

諸國、米穀數何新、まゝ分價、此
市井、日、高下、任、天、道、時、を、換
徳支、難、通、組、年、を、論、風、雨、叩、口
只、走、西、又、東、人、る、路、乃、出、火、要、忽
然、お、切、障、虚、室、

高松

倭子福録、 

佐、功、の、夢、た、う、志、ま、け、米、市、切

桃苗

大、か、い、ふ、つ、り、あ、さ、お、り、り

より、け、さ、い、けん、を、こ、お、り、米、市、切

夏、候、の、
百合

な、ふ、ハ、大、路、お、き、る、へ、り、り

伊、勢、四、津、
清、逸



味、い、し、く、も、は、な、ま、と、た、く、く

毎、日、
材

ぬ、い、ふ、釘、さ、こ、ぬ、り、や、く、も、枝、屋、や、う

不、
仙

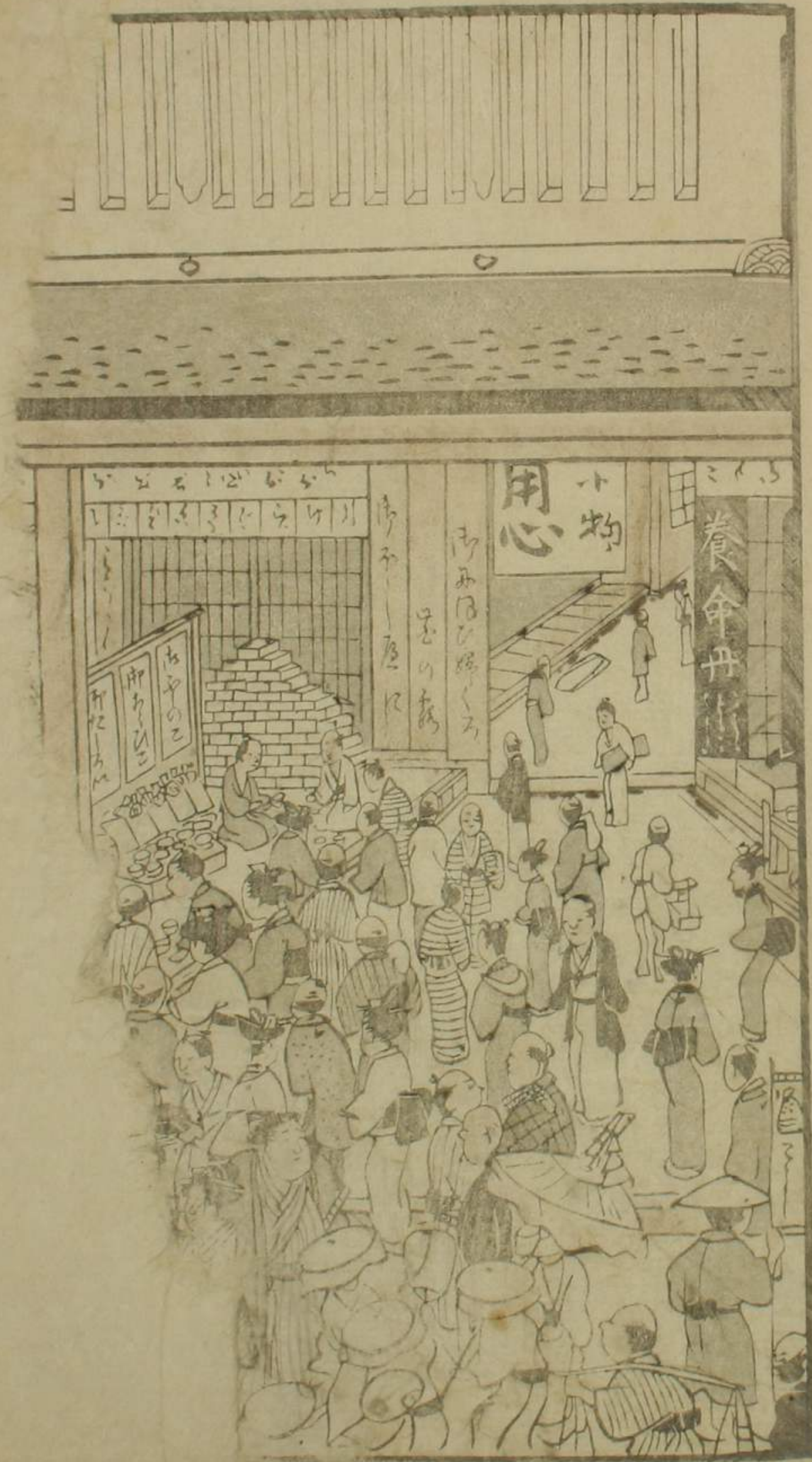
ま、ま、の、こ、こ、
ま、ま、の、こ、こ

信、
玉、後

う、ら、ひ、さ、
た、ら、う

手、地、愛、解





紅粉

お中納紅粉



映山紅

資矩卿

夕暮の光に山路をてしん岩の如く
いつく花をうけ花よりのしるし

名同樵者挿擔叢還落佳人玉筍中
試施舌藩晨向鏡都教媚態一身充

右

平安皆川先

夕暮の光に山路をてしん岩の如く
いつく花をうけ花よりのしるし

浪丸

夕暮の光に山路をてしん岩の如く
いつく花をうけ花よりのしるし

蕪坊

夕暮の光に山路をてしん岩の如く
いつく花をうけ花よりのしるし

栗飯

海あはれいづれおとこの看極り

亀洞

つりつりおとこの看極り

亀旭

おとこの看極り

松嵐

おとこの看極り

挑苗

おとこの看極り

鬻道々自賀

雅波津の今と昔の寒の梅

子輔

賜諸君子和歌詩作狂奇

誤句雖有之數多略之也



白路行過緑徑長
 臨林亭子足清涼
 蔓藤不獨花時好
 密葉壓枝遮夕陽

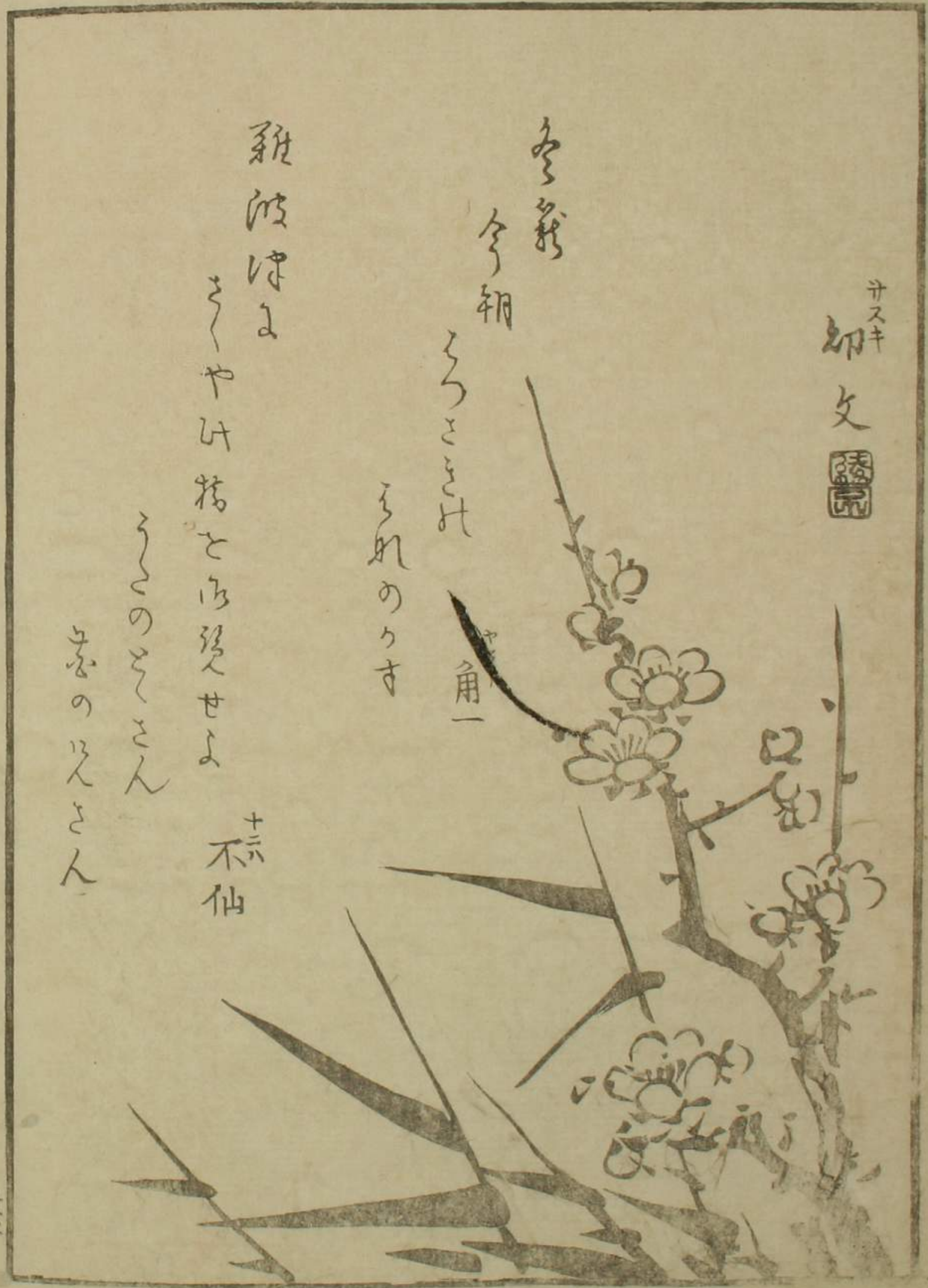
六月念三遊埜田村小占

讚州金毘羅 牧金陵

阿州

埜田のやし

野田のやし



カスキ
 卯文

冬新

今朝

くろととれ

ふれのうす

角一

新波はよ

こくやけ枝とゆはせよ

不仙^{十六}

うこのととさん

ふきのえさん



さうろの松

日 併 羅 野

権系り名のそとそく

花まけり枝まふ

さうろれおそく

五八

朶雲

いらつまつてふんてふん 福崎小枝まふさうれおい今

五八

桃 苗

源卒のいし今もさうなむさうろれふくまのね

不 仙

猫あそび福崎いさうていさふさうろれおのあとし

砂 角

権系りたていさうさうろていさふくし海ふととらね

子 行

葉もまけり枝もさうろれおの肉ふもかふもまけり

権 花

さうろせん今もさうろていさふのいんを福むれね

空 丸

何様人と毎てもいといはるは川
のまむ咽れ廣い川口

ナニハ
枕苗

月又つく城をめておの文ふくま

ナニハ
秀磨

沢茅のふとれはるを初時

ナニハ
河洲

風の月芦れ舟よりつらとろく

ナニハ
可右

押てるやふかとい月の敷千艘

ナニハ
漱石



川口



漕う一とみおれ出るふねもらけ
くまよ志けを難波の酒を娘よ

ナニハ
覺了

難波にやすしと押合ふりふね

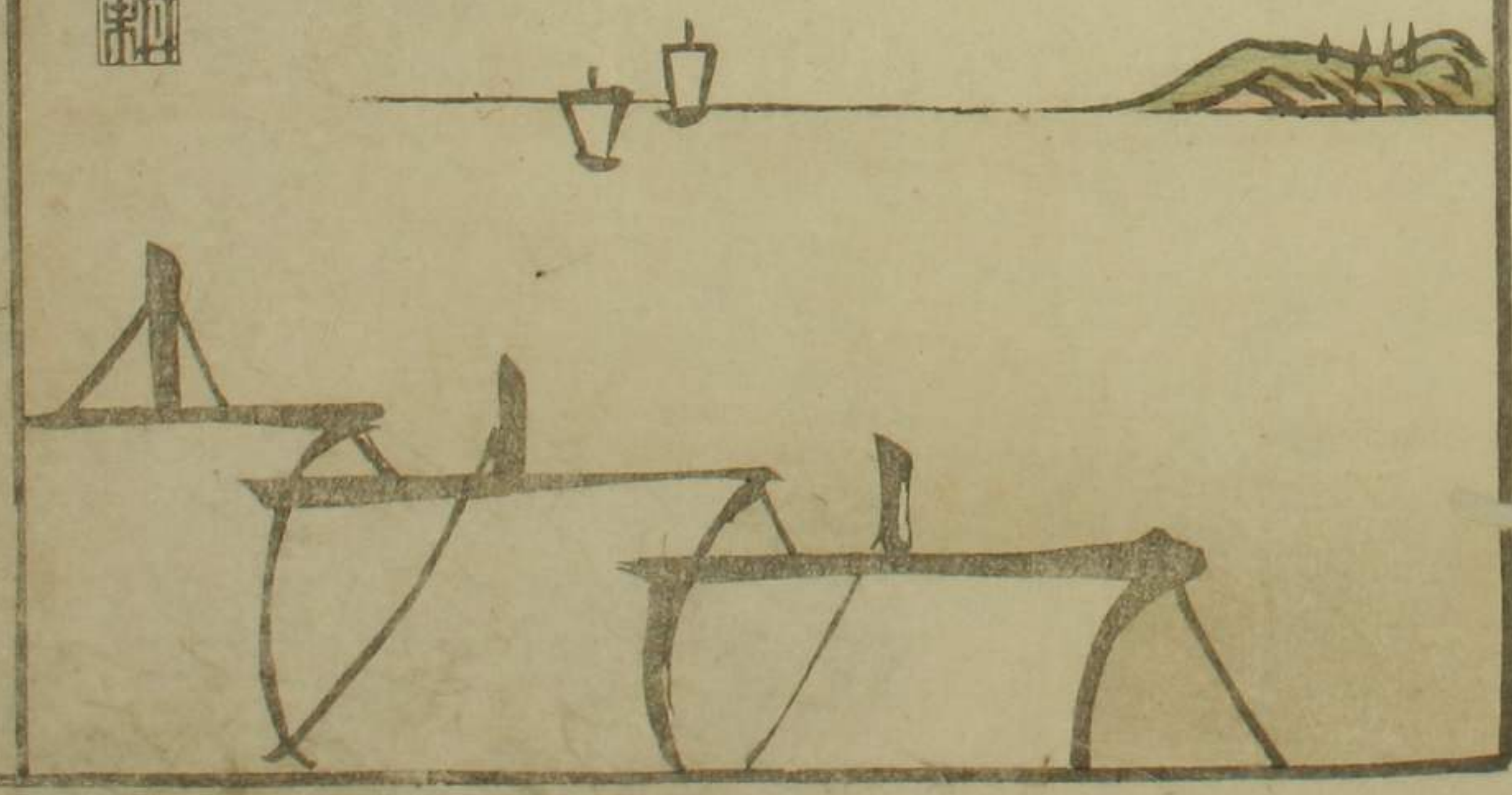
さとの尾ふえ也舟のかハ口

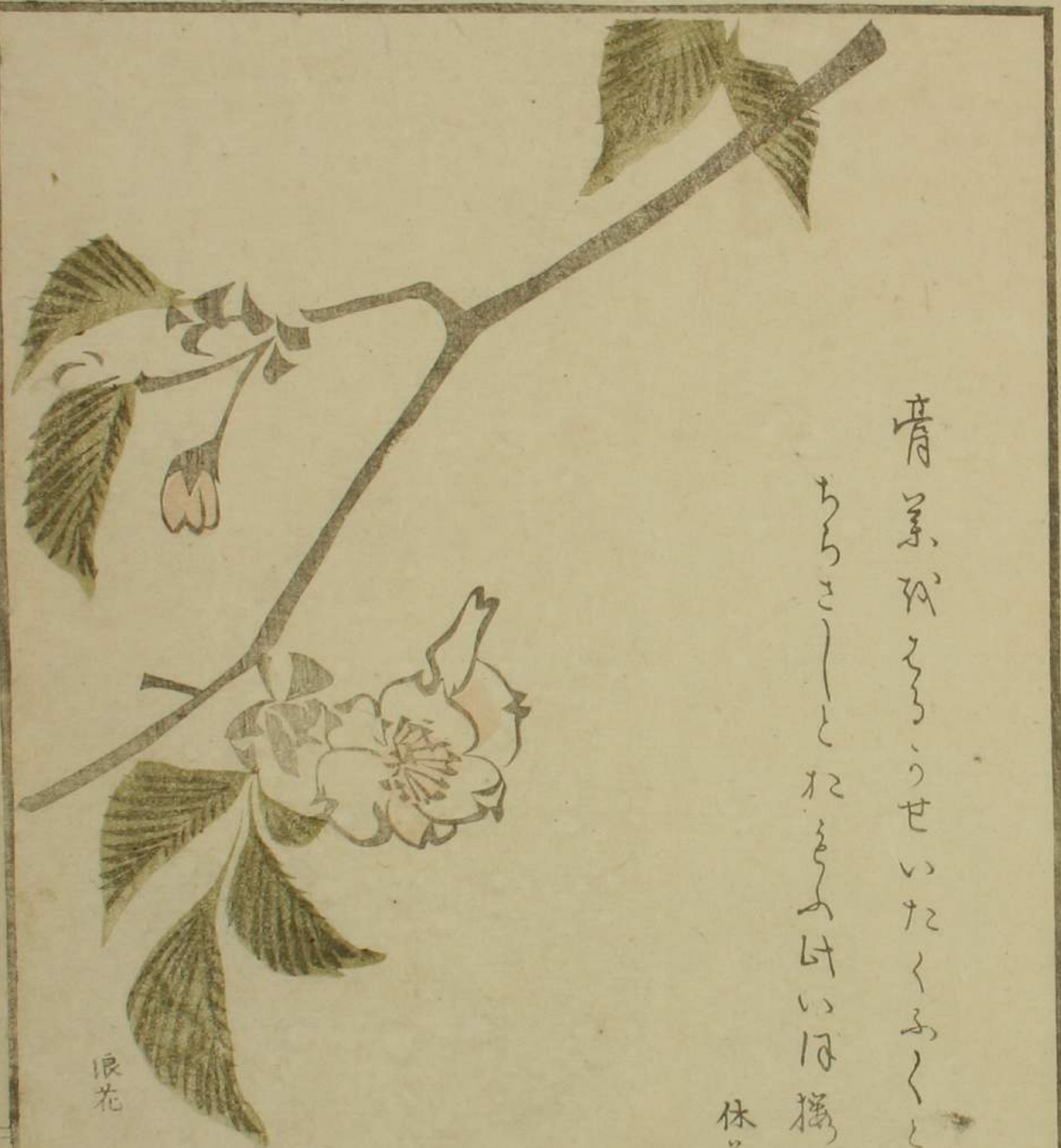
浪子
鉄格子

江の月巾帆柱並ふ漂

ナニハ
津田
魯拙

ナニハ
東渚





辰花

山名昌

いざさう

休花高
寸松

青葉がさううせいたくふくとも
ちらさうとねまふけいは様



日のあまほ
アハヒさく休め
大根由

官前大根

浪速
文鳥題

且西
銀印

茄庄本

吹田くわ

河内

葎画

大恩のめくも深江の

管笈いさこそ

いたく

あめりきこ人

浪花

舟丸

小笠といこ

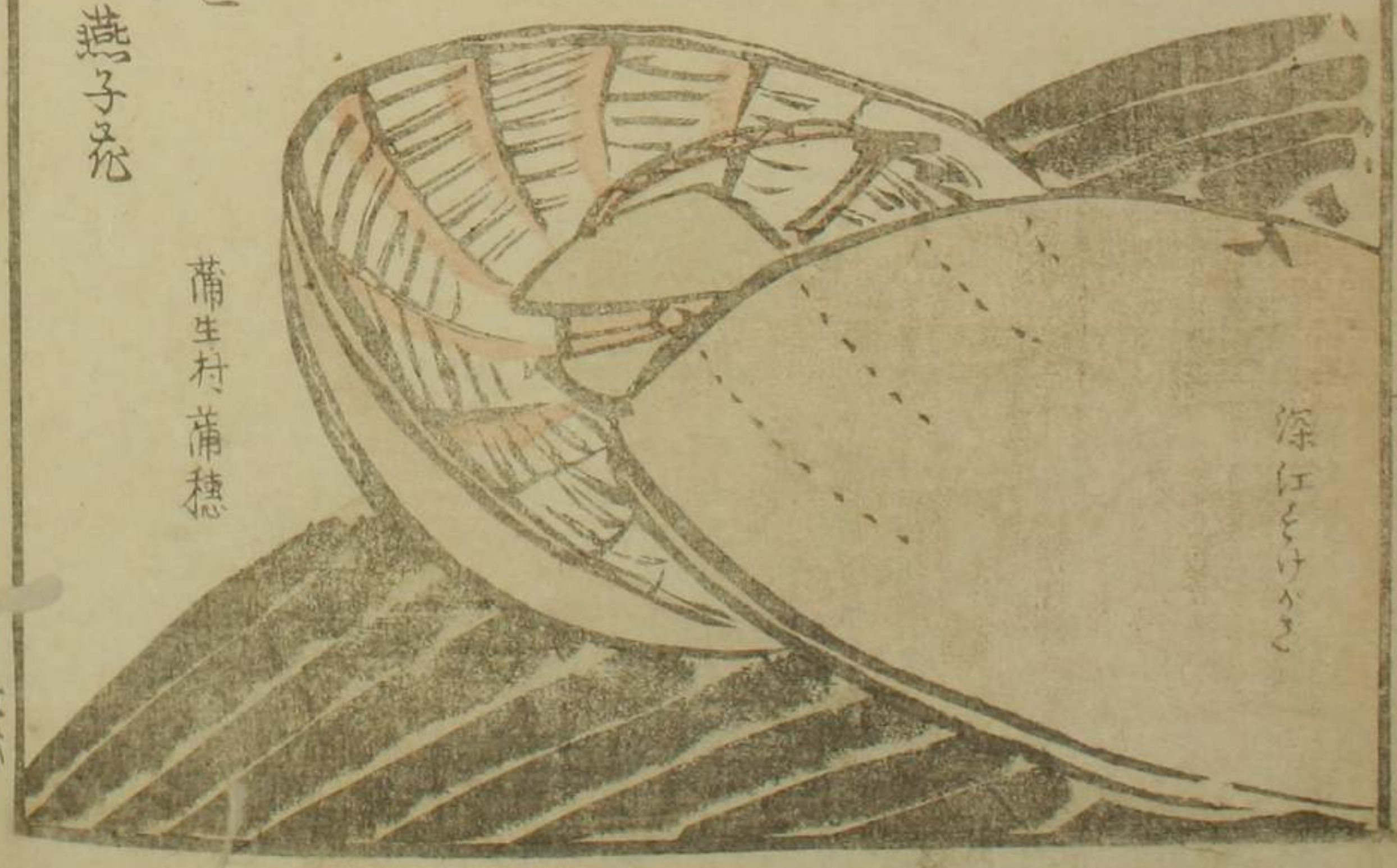
あやむか志のこ恩に

いついゆのてこそあま

十二

燕子花

蒲生村蒲穂



深江とけがさ

たきもつえよ

生田の楳

うらふり形

是とるひらと

いひそふかもの

浪花

竹

東莞

藤白堂



生田櫻

尾崎鳥貝



梅のらび

江戸

奥類姫



板うん刺いちり競へて今とある
いけい伊丹ふかまほハカ

十三八

鉄格子

そまし小文垣造る牡丹島
志の王代さらハ一後

全

池田くく造りいとせも牡丹とて
さけふふくくぬよハ花の香

天王寺

蕪坊

池田牡丹

酒丹亭



池田炭

延平

九七

英開五出香襲千里
素質濃粧雪月之裡

琴鶴主人源梅龜

浪花

石居 圓 圓



岡本梅

和田御崎

不言齋畫

破くさき匂ひ板

東風のくさくさけり

其流

陰たけと松を志るへに

漕つきて和田の

ととれよよとるな舩

ウウ

サカイ
船と女



三六の

うらよゑの

い

よそりやく

河

のぬを

あなうよれ中

蓋涵丸寫



嶋村蟹



波のふき月の

霞よて次きけり

到丘

浦風おすや氷らん

小ねあとり

花蹊

戦のむくしのけい

うつてかえんうハニハの

世若麦のたつとも

砂角



いふたれあつて

都はれを海に

源梅龜

上野や

船よとる浪の

讃津田

奇峯

兵法のよとる浪の

うふもうつてる波

ぬけつらるる川

可右

須磨

文昇



玉東 

福光の

けう国おもかけ

そたまさし

席ふりい

けうの

麦味

けうも

あふ



源平

十二八
巾雅

